

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 物価高騰等により依然として影響を受けている市内事業者への支援をはじめとし、正規雇用を希望する方への就職・就労支援や、市民の利便性の向上、まちの活性化に資する事業所・店舗等の誘導に努めました。	・現状 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことで、飲食業などB2Cの業態を中心に売上上昇基調がみられるものの、物価高騰等により、市内事業者の経費負担増は依然として続いています。その状況下でも、新たに市内で創業し魅力的な個性を発信している事業者や意欲的に売上向上に取り組み事業者が現れており、その支援により地域経済の好循環を生むべく、各施策を進めています。
・評価 市民の利便性向上に資する小児科立地やまちの賑わいに資する空き店舗の活用促進を図りました。市内での創業を希望する方への支援として、女性向け創業スクールの開催や、生産性、売上げの向上に取り組み事業者への支援を実施しました。さらに、東京電力による電気料値上げ等に係る電気料金の急激な高騰への負担緩和措置として、電気料金高騰対策支援事業を実施しました。	・課題 生産年齢人口の減少に伴い、人手不足（人材確保）を課題としている市内事業所が多いです。
・改善点 女性向け創業スクールの実施にあたり、令和4年度は多くの参加者を募る意図から各回開催ごとに参加者募集としましたが、令和5年度では全6回を通年参加とし、参加者の理解や知識がより深まるよう工夫しました。グループ提案売上アッププロジェクト応援補助金では、提案をグループで行う際の取りまとめ役となる事業者の時間的、経済的負担軽減を図るため、本業従事以外に費やした人件費等の一部を補助対象経費として含める改善を行いました。	・取組内容 引き続き、市民の利便性の向上とまちの活性化に資する事業所・店舗等の進出、雇用確保の機会が見込まれる事業所等の誘致活動、正規雇用を希望する方への就職・就労支援を進めてまいります。また、事業所における働き手確保に資する取り組みへの支援に努めます。

空き店舗有効活用事業	空き店舗の解消による賑わいの回復と創出をはかるため、生じてしまった空き店舗を活用する事業者に対し、改装工事費及び賃借料にかかる補助を行うものです。
------------	---

魅力ある事業者の育成・誘致

中小企業資金融資事業	市内中小企業者の事業発展と維持を目的に、事業に必要な運転資金、設備資金を円滑に調達できるように、融資にかかる負担軽減を図るものです。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	商工振興課	140,288		138,865		14,104	139,939	130,006	9,933
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	商工会議所役員会参加回数(常任委員会、商業部会、工業部会)(回)	36	36	36	融資件数(件)		15	21	20
流山工業団地役員会参加回数(回)	12	12	12	利子補給件数(件)		110	104	150	
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 中小企業者に対し、金融機関を通じた資金融資の実施及び融資利息の一部補給を実施しました。					・現状 コロナ禍に入った時期にセーフティネット4号枠の融資を設けたことで多くの事業者が利用しました。現在は返済期間中の事業者が多く、新規融資申込者はコロナ禍前よりも少ない状況が続いています。				
・評価 資金融資を21事業者に実行し、利子補給を104事業者に対して実施しました。					・課題 国による制度変更等があった場合は早期周知に努めていく必要があります。				
・課題に対する改善点 国の制度変更に対しての早期周知を図った結果、円滑に事業を実施することができました。					・取組 中小企業者に対し、金融機関を通じた資金融資の実行及び利子の一部補給を実施します。				

魅力ある事業者の育成・誘致

創業支援事業	30～40代を中心として子育て世代の転入が続いているなか、出産や育児などの理由で一旦仕事から離れている女性の能力を活かすため、女性の創業を支援し、地域経済の活性化とまちの魅力を高めることを目的とするものです。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	商工振興課	1,659		1,659		14,104	1,650	0	1,650
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	女性向け創業スクール受講生(人)	26	25	22	創業者数(女性向け創業スクール卒業生)(人)		13	22	15
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 女性向け創業スクール開催及び同スクール生や創業を検討している女性や創業間もない女性が一年を通して相談ができる「創業コンシェルジュ」と「デザインコンシェルジュ」を設置し、創業しやすい環境づくりに努めました。				・現状 女性向け創業スクールは、毎年受講希望者が多く、受講後の満足度も高い状況が続いています。受講生が創業に至ったケースでは、経営規模が極めて小さいものもあり開業したものの、集客に苦慮しているといった相談が創業コンシェルジュに多く寄せられています。					
・評価 スクール受講生が創業を実体験する「卒業マーケット」を開催したほか、会計経理に関することや創業での登記手続きなど、実践的な講座内容とし、創業に向けたスキル習得を図りました。				・課題 創業に必要な知識とスキルは日々変化していることから、社会の変化に即した講座内容にしていける必要があります。					
・課題に対する改善点 令和4年度の創業スクールでは、試行的な取り組みとして1講座ごとに参加者を募る方式とし、結果として多くの方に受講いただきましたが、創業に係る熟度を深めることが難しい場面がありました。令和5年度は、全回を通した参加型式に戻し、習得レベルの向上を図りました。				・取組 引き続き、女性向け創業スクールの開催、創業コンシェルジュ、デザインコンシェルジュを設置し創業支援を実施します。なお、創業スクールでは、創業間もない事業者は顧客への訴求力や販路拡大、商品開発等のノウハウに乏しいことが多いため、創業スクール卒業生と受講生の交流など、情報交換ができるような場づくりを図ります。					

魅力ある事業者の育成・誘致

企業立地促進事業		地域産業の発展と市民の利便性の向上、市の財政の安定、まちの活性化に資する事業所・店舗等の進出を促進するものです。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
商工振興課	12,418		11,270		14,104	12,782	0	12,782
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
面談にいたった事業所等の数(件)	38	47	40	企業等立地促進奨励金の交付対象事業所等の新規立地件数(件)		2	1	1
面談・相談等の数(件)	100	99	80	物件のマッチング等の支援を行った事業所等が立地に至った件数(件)		1	2	2
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 不動産事業者等の協力を得ながら、開業候補地となる土地情報を案内しました。また、病院開設には病床確保が前提となるため、病床申請に係る公募時期等について千葉県の所管部署へ適宜確認しました。				・現状 本市は年少人口の増加から、小児科クリニックが混雑し予約が取りにくい状況が続いています。				
・評価 病院については、開業候補地が決定に至り、令和5年7月に実施された千葉県の病床追加公募に応募し、現在病床配分の決定待ちとなっています。				・課題 クリニックの開業候補地の確保及び開業志向の高い小児科の勤務医との接触が課題です。				
・課題に対する改善点 病院の立地に係る地元自治体としての同意書とは別に県に訪問し、要望書を提出する等、病床の確保に努めました。				・取組 不動産事業者等の協力を得ながら、開業候補地を選定していきます。また、医療系の開業コンサルタントを訪問し、小児科の勤務医との接触を図りクリニックの立地を促進します。				

魅力ある事業者の育成・誘致

企業動向調査事業	市内事業者の景況感や抱える課題を把握し、効果的な事業の検討及び評価を行うためのエビデンス取得を目的に動向調査を行うものです。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	商工振興課	4,766		150		14,104	4,582	0	4,582
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	調査件数(件)	-	1,500	1,500	平均回収数(件)		-	492	375
					回収率(%)		-	32.8	25.0
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 市内事業者における景況感や抱える課題の把握をし、さらに既存事業の改廃、新規事業の創設に繋げるため、質問構成を工夫し、調査を実施しました。				・現状 上期・下期2回の調査と結果に対する事業検証を実施しています。					
・評価 上期・下期の2回実施し、それぞれ上期474件(回収率31.6%)、下期510件(回収率34%)の回答となり、概ねデータの収集に必要な数を得られました。				・課題 地域経済を取り巻く社会課題や同調査結果を踏まえた有用な設問設定、質問構成となるよう検討を進めていく必要があります。					
・課題に対する改善点 調査票の作成について、回答しやすいレイアウトや読みやすい設問文章となるよう工夫しました。				・取組 回答数向上への研究を続けるほか、回答する事業者側の負担が大きくなりすぎないよう見易い質問構成を設定していきます。					

魅力ある事業者の育成・誘致

物価高騰支援事業 (商工振興課 小規模事業者持続化促進分)	急激な為替相場の変動及びエネルギー価格や材料費の高騰等、社会・経済情勢が激しく変化する中、自社の経営を見直し持続可能な経営に向けた経営計画を作成し、生産性の向上に努めようとする小規模事業者の取り組みを促進するため、経費の一部を補助するものです。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	商工振興課	4,375		6,601		14,104	4,400	0	4,400
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	案内件数(件)	20	24	35	交付件数(件)		20	24	35
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 中小企業庁の「小規模事業者持続化補助金(一般型)」に採択され、国の補助金確定通知を受けた市内小規模事業者に対し、国の補助額の1/4相当の上乗せ補助をしました。					・現状 事業活動の充実化に取り組む事業者の意欲を高める補助金であり、今後も国補助は継続しており、市の上乗せ補助についても制度周知を重ね利用促進を図っています。				
・評価 対象となる国の補助金交付確定者24事業者に対して市上乗せ補助を交付し、販路拡大等に積極的に取り組む小規模事業者への支援を図りました。					・課題 制度を知っている方だけでなく、制度を未だ知らない方へも本支援の情報が届くよう引き続き周知に工夫をしていく必要があります。				
・課題に対する改善点 小規模事業者に係る国補助金申請窓口である商工会議所と情報連携を図り、市上乗せ補助対象者の把握を行い、制度利用の案内をしました。					・取組 小規模事業者による販路拡大等への補助により、持続可能な経営の実現及びやる気と行動力のある事業者への支援を図ります。また、対象事業者からの申請受付期間を2回設け、交付決定に係る事務関係の平準化を図ります。				

魅力ある事業者の育成・誘致

多様な人材が活躍できる職場づくり推進事業		生産年齢人口減少に伴う労働力不足が進むなか、市内中小事業者において多様な人材が活躍できる職場づくりを推進するため、多様な人材の新規採用・定着を目的とした設備などの整備費用等の一部を補助するものです。								
担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
商工振興課		0		0		0		1,051	0	1,051
主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標			R4実績	R5実績	R6目標
相談件数(件)		-	-	5	補助金交付件数(件)			-	-	1
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 令和5年度は事業の実施はありませんでした。					・現状 市内事業者が事業継続に必要な「労働力確保」に向けた取組みに対する支援及び「流山市多様性を尊重する社会の推進に関する条例」に市の責務として規定された「多様性を尊重する社会の推進」の実現に努めています。					
・評価 令和5年度は事業の実施はありませんでした。					・課題 新規事業であることから各方面への案内や説明により、制度周知と理解の促進に努めていく必要があります。					
・課題に対する改善点 令和5年度は事業の実施はありませんでした。					・取組 従業員の採用や職場定着、シニア世代、障害のある方、外国人等が活躍できる職場づくりのために必要な諸室や設備の確保、器具等の購入費などに取り組む事業者に対し、かかる経費の一部を補助します。【補助率1/2、上限100万円】					

魅力ある事業者の育成・誘致

流山市事業者グループ提案型 売上アッププロジェクト応援事業		エネルギー価格や材料費の高騰等、社会・経済が激しく変化する中、持続的な経営に向け販路拡大等を目指す市内事業者グループの自主的な事業活動を推進するため、地域経済の活性化を目的とした事業に係る経費の一部を補助するものです。													
		担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
		商工振興課		5,022		1,316		14,104		2,362	0	2,362			
		主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標				
		応募件数(件)		2	3	3	補助交付件数(件)		2	3	3				
令和5年度の取組みと評価・改善点												令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組												・現状			
市内事業者の自主的な事業活動を応援するため、新たな商品・サービスの開発や販路拡大等の取り組みを支援しました。												利用を検討する事業者から事前の相談等があった際には、補助概要の説明や提案内容が直接的な売上アップに繋がるか確認し提案者側のスムーズなグループ化と制度理解の促進を図っています。なお、令和5年度の主要事業「新型コロナウイルス感染症対策事業(商工振興課グループ提案型売上アップ・プロジェクト)」は、令和6年度から本事業に集約しました。			
・評価												・課題			
3件採択となり、グループ各事業者に係る売上げアップと地域や業種を超えた経済連携、経済波及の創出を図ることができました。												制度の利用促進のためには、この補助金がどのような取り組みに活用できるのかを分かりやすく周知する必要があります。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行から1年が経過することから、補助率の改定など制度の見直しが必要となっています。			
・課題に対する改善点												・取組			
当該事業への関心はあるものの、グループ提案の取りまとめ役が担う時間的、経済的負担により申請を見送るケースがあり、令和5年度において本業従事以外に費やしたグループ提案に係る人件費等の一部を補助対象経費として認めることとし、負担感軽減への対応を図りました。												引き続き、当該事業を実施しますが、市内経済の逼迫状況が落ち着きを取り戻してきたことを契機として、補助率を2分の1とするとともに、当該事業の役割を物価やエネルギー価格上昇等の影響に対するものとします。			

就労の支援

就労支援セミナー企画運営事業	求職者が自信をもって円滑に就職活動に取り組み、希望する就職につながるようにすることを目的に実施するものです。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	商工振興課	12,698		12,302		14,104	12,769	3,240	9,529
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	就職個別相談相談者数(人)	105	143	120	相談者の就職者数(人)		75	52	70
				年間セミナー参加者数(人)		158	271	214	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 求職者からの個別相談及び就職支援セミナーを実施し、正規雇用に向けた支援を行いました。 また、ハローワーク松戸等と共に市内企業を集めた就職面談会を実施しました。				・現状 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、求職者の就職活動が活発化しており、就職面談会には、139名と多くの参加者があるものの、そのうち就職に至ったのは5名と少ない状況にあります。また、職住近接を希望する求職者が増えつつあります。					
・評価 ジョブサポート流山で専門のキャリアカウンセラーを配置した就職個別相談を実施したほか、相談者が就職した後もカウンセラーから電話やメール等によるフォローアップを実施し、職場での不安解消や働き方へのアドバイス等により、職場定着が進むよう支援を図りました。				・課題 就職支援セミナーの開催では、就職活動に必要な内容かつ、昨今の雇用情勢を踏まえた内容とする必要があり、求職者に有用となる情報や制度などの収集を図る必要があります。					
・課題に対する改善点 就職支援セミナーでは、対面とオンラインの併用や子どもの一時預かりを導入するなど、求職者がより参加しやすい環境づくりに努めました。				・取組 カウンセラーによる就職、正社員への転換に至るまでの継続的な個別指導から就職後の職場定着へのフォローアップなど、きめ細やかな支援に努めます。また、地元企業と地元での就職を希望する求職者の面談の場として、ハローワーク松戸等と共に就職面談会を実施します。					

主管部局 経済振興部 施策の目的 都市農業の多面的機能を活かし、生産性や収益性を高める農業の振興を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
認定農業者数	市の認定を受けた農業経営者	46	54	60	経営体	↑
農業産出額（推計）	千葉農林水産統計年報の市町村別農業産出額推計結果※R3実績（R1～R2）年関東農林水産統計年報（市町村別農業産出額推計）※R4実績（R2～R3）関東農林水産統計年報（市町村別農業算出額推計）※R5実績（R3～R4）	185（※）	92（※）	95（※）	千万円	↑
令和5年度の取組みと評価・改善点		令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組内容 学校給食に流山産米及び野菜を含んだ千産千消を推進しました。また、認定農業者の農業経営改善計画の達成のため、資機材等の事業費補助を実施しました。		・現状 都市化による農用地の減少が生産性に影響していますが、都市農業としての利点を活かした産直販売を促進し、学校給食への流山産米の通年供給の継続、認定農業者に対して効率的な資機材の購入を支援することで、安定的な生産を維持しています。				
・評価 学校給食に流山産米及び野菜を含んだ千産千消を推進し、認定農業者の農業経営改善計画の達成のため、資機材等の事業費補助に取り組みました。		・課題 都市化による農用地、農業者の減少による担い手、後継者育成の対策が課題であることから、安定した農業経営のための支援が必要です。				
・改善点 流山産米及び野菜の学校給食への供給確保と安定した農業経営のための支援を行いました。		・取組内容 認定農業者の継続的な営農が可能となる、安定した農業経営のための事業費支援に取り組みます。				

農業経営改善の充実

認定農業者支援事業	本市農業の中心的な役割を担っている認定農業者が購入する環境配慮型農業資材費の一部を支援することにより、生産規模の拡大及び効率化を図り、更なる農業振興を推進します。環境配慮型農業資材の購入を促進することにより、減農薬、化学肥料使用の削減に繋がり環境にやさしい農業を推進します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	農業振興課	5, 100		4, 126		1, 807	6, 160	0	6, 160
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	実績補助金額(千円)	3, 372. 5	4, 125. 3	6, 160. 0	認定農業者数(経営体)		54	60	60
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 認定農業者への資機材等の補助を通じて継続的な支援に取り組みました。				・現状 認定農業者の安定した生産性の維持及び向上するための支援に努めています。					
・評価 新規認定農業者の推進や支援事業の周知に努めました。				・課題 認定農業者の農業経営改善計画の達成に向けて、継続的な支援をしていく必要があります。					
・課題に対する改善点 認定農業者の農業経営改善計画の達成に向けて、継続的支援の必要性が課題であることから、認定農業者が購入する環境配慮型農業資材費の一部支援を引き続き行うこととなりました。				・取組 認定農業者の安定した農業経営のための継続的支援に取り組みます。					

農業経営改善の充実

農業振興資金融資及び利子補給事業	農業後継者、新たに農業を営む者等に、融資機関を通じて農業振興資金を貸し付け、利子の一部を補給し都市農業の安定的な継続ができる効率的な農業経営の拡大を図ります。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	農業振興課	7,776		7,579		1,411	7,755	7,001	754
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	利子補給金額(千円)	540	579	755	利用実績件数(件)		22	22	24
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 資金融資制度の活用により農業者の安定的な農業経営が継続的に行えるよう取組みました。				・現状 資金融資による貸し付け利子の一部を補給することで、農業者の安定的な農業経営に努めています。					
・評価 資金融資による貸し付け利子の一部を補給することで、農業者の安定的な農業経営に寄与できました。				・課題 資金融資による貸し付け利子の一部を補給することで、農業者の安定的な農業経営の継続を引き続き支援していく必要があります。					
・課題に対する改善点 農業者の安定的な農業経営のため継続的支援の必要性が課題であることから、資金融資制度の活用により安定的な農業経営が継続的に行えるよう引き続き支援していくこととなりました。				・取組 資金融資による貸し付け利子の一部を補給することで、農業者の安定的な農業経営の継続を引き続き支援していきます。					

農業経営改善の充実

エコ農業推進事業	減農薬、減化学肥料による環境への負荷を低減する方向の農業生産を推進し、環境にやさしい農業の向上に資するための支援事業を行います。消費者のエコロジー趣向に対応し、環境にやさしい農産物生産に資することができます。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	農業振興課	1,980		2,451		2,203	2,352	0	2,352
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	実績補助金額(千円)	1,351.0	2,450.3	3,360.0	エコ農業生産農家数(件)		43	48	50
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 消費者のエコロジー趣向に対して、減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の購入を継続できるよう購入費の一部補助を実施しました。					・現状 消費者のエコロジー趣向に対して、減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の購入を支援していきます。				
・評価 消費者のエコロジー趣向に対して、減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の購入を継続できるよう支援に取り組みました。					・課題 消費者のエコロジー趣向に対して、減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の購入が継続できるよう引き続き支援していく必要があります。				
・課題に対する改善点 消費者のエコロジー趣向に対して、減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の継続購入が課題であることから、継続購入ができるよう支援に取り組みました。					・取組 消費者のエコロジー趣向に対して、減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の購入が継続できるよう取り組んでいきます。				

農業への理解の促進

学校給食地産地消推進事業	地産地消を推進し、流山産米を市内小中学校及び保育所の給食に提供するため、水稻生産者等を助成することで安定的に通年供給できるよう確保します。なお、学校給食については、米以外にも地元野菜の供給拡大を促進します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	農業振興課	18,612		18,612		2,821	16,520	0	16,520
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	米飯給食実施回数(回/年)	2,970	2,970	3,190	学校給食への米の出荷量(ｔ)		232	243	251
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 米飯給食の安定供給のため、水稻生産者や関係団体への助成を行い、継続的な支援に取り組みました。					・現状 千産千消を推進した米飯給食の安定供給に努めています。				
・評価 流山産米の通年供給を行うことができました。					・課題 米飯給食の安定供給のため、水稻生産者及び関係団体へ引き続き支援していく必要があります。				
・課題に対する改善点 流山産米の米飯給食への安定供給が課題であることから、流山産米の安定供給ができるよう水稻生産者及び関係団体に対し支援を継続しました。					・取組 米飯給食の安定供給のため、継続的な支援に取り組みます。				

農業への理解の促進

市民農園事業	遊休農地等を土地所有者から借上げ、市民農園として市民が農作業を実践する場、家族や市民相互のふれあいの場として有償提供するとともに、更なる遊休農地の有効活用を図ります。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	農業振興課	2,166		2,271		1,807	227	219	8
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	市民農園借り上げ面積（㎡）	10,003.00	9,481.98	9,481.98	農園数（農園）		6	5	5
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 引き続き遊休農地の有効活用として、名都借、大畔、駒木台、西深井、こうのす台の5地区の借上げに取り組みました。					・現状 遊休農地有効活用の一環として、農地所有者から農地を市民農園用地として、名都借、大畔、駒木台、西深井、こうのす台の5地区を借り上げています。				
・評価 遊休農地の有効活用に寄与できました。					・課題 農地所有者の土地活用による借り上げていた市民農園用地の契約が解除となった場合の代替え地の候補探しが課題です。				
・課題に対する改善点 市民農園用地の契約が解除となった場合の代替え地探しが課題であることから、遊休農地有効活用を図るため引き続き5地区を借り上げることとなりました。					・取組 引き続き遊休農地の有効活用として、名都借、大畔、駒木台、西深井、こうのす台の5地区の借り上げに取り組みます。				

主管部局 経済振興部 施策の目的 地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
入込客数	施設、イベントの入込客数（流山本町・利根運河ツーリズム推進課）	133, 975	180, 936	419, 678	人	↑
令和5年度の取組みと評価・改善点		令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組内容 流山本町及び利根運河両地域のマイクロツーリズムを推進しました。また、流山版DMOである株式会社流山ツーリズムデザインを支援するとともに連携し、コンテンツの充実に努めました。		・現状 体験型観光施設「白みりんミュージアム」について今年度末の開館を予定しています。流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）を支援しつつ連携し、コンテンツの充実に努めています。				
・評価 4年ぶりに流山火花大会を開催したほか、流山本町及び利根運河両地域において様々なイベント等を実施し、交流人口の増加、地域活性化を図りました。		・課題 流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活かし、さらなる交流人口の増加及び地域経済の活性化を推進する必要があります。				
・改善点 新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行し、国内旅行やインバウンドも以前のような勢いを取り戻しつつあるなかで、交流人口の増加並びにリピーターの確保に向けてプロモーションの見直しや新たなイベントの実施に取り組みました。		・取組内容 流山本町及び利根運河両地域のツーリズムを推進します。また、体験型観光施設「白みりんミュージアム」の今年度末の開館に向けた準備を進めるとともに、流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）を支援しつつ連携し、コンテンツの充実に取り組みます。				

地域資源を活かしたツーリズムの振興

流山版DMO推進事業	観光地域づくりの舵取り役として官民連携により設立された法人である流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の活動を支援し、観光振興を推進します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	流山本町・利根運河ツーリズム推進課	20,600		20,600		19,761	37,106	11,652	25,454
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
					流山本町地域への来訪者数(人)		65,394	198,543	200,000
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 国の地方創生推進交付金を活用し、流山版DMOである株式会社流山ツーリズムデザインと共に観光ビジョンを策定しました。					・現状 観光庁の地域DMOの「候補DMO」から「登録DMO」に昇格した流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）と共にツーリズム推進に取り組んでいます。				
・評価 令和6年1月から新社長が株式会社流山ツーリズムデザインに就任し、市とこれまでの事業等を精査しました。					・課題 流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の事業計画等について、様々な関係者と共有を図る必要があります。				
・課題に対する改善点 今後のツーリズムを推進するに当たり、ビジョンを共有することができました。					・取組 流山本町及び利根運河両地域のツーリズムを推進するため、流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の活動を支援し、連携して取り組みます。				

地域資源を活かしたツーリズムの振興

流山本町・利根運河ツーリズム推進事業	流山本町及び利根運河地域の歴史的建造物を活用し、飲食店やギャラリー、観光情報の発信等を行う拠点を創出します。また、地域情報誌掲載による観光PRを行い、来訪者の増加を図ります。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与と費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	14, 825		4, 841		7, 293	8, 423	0	8, 423
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
ツーリズム推進事業補助金相談回数(回)	12	6	10	ツーリズム推進事業補助金(改装)件数(件)		4	1	1
				ツーリズム推進事業補助金(家賃)件数(件)		4	5	6
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 古民家を活用して出店する事業者に補助金を交付しました。				・現状 流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活かすとともに、各種媒体等を活用することで、より一層来訪者の増加を図る必要があると考えています。				
・評価 流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金では、令和6年度新規オープンの事業者に対し改装費等を補助しました。				・課題 流山本町及び利根運河両地域のツーリズム推進のため、PR活動や古民家を活用して出店を希望する事業者への支援が必要です。				
・課題に対する改善点 千葉県の150周年記念事業と連携したPRを行いました。				・取組 地域を回遊するイベントの開催や地域誌によるPRを行います。また、古民家を活用して出店する事業者に補助金を交付します。				

地域資源を活かしたツーリズムの振興

白みりんミュージアム整備事業	白みりん発祥の地であることをPRし、白みりんについて学び体験できる施設を流山本町地域に整備します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	流山本町・利根運河ツーリズム推進課	42,645		484,735		22,357	164,943	133,988	30,955
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	施設の入込客数(人)	-	-	280					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 令和6年度末の開館に向けて建設工事を実施しました。				・現状 令和6年度中の開館に向けて外構工事及び展示委託等を実施します。					
・評価 国の交付金を活用して白みりんミュージアムの建設工事を実施しました。				・課題 工事等の進捗状況を確認するとともに、開館準備を進める必要があります。					
・課題に対する改善点 世界情勢の影響による物価上昇等を注視し、工事の進捗を確認し工期どおりに進めました。				・取組 白みりん発祥の地であることをPRし、流山本町の回遊の拠点とするため、白みりんについて学び体験できる白みりんミュージアムを令和6年度末の開館に向けて整備します。					

来訪者の受入体制の充実

外国人観光客誘致促進事業	流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活用し、両地域へ外国人観光客を誘致するためのプロモーションを行います。また、国等が実施するJETプログラムに基づく国際交流員（CIR）を任用し、外国人目線でSNSを活用した情報発信を行うとともに、店舗と協力し、店舗の英語対応表示やメニューの英語化等、受け入れ態勢整備を行います。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	流山本町・利根運河ツーリズム推進課	7,544		6,612	3,526	7,029	0	7,029
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
	外国人観光客の来訪数（人）	844	1,252	1,600				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 外国人観光客の誘致に向け、ターゲットである台湾、欧米に向けたプロモーションを実施しました。また、国等が実施するJETプログラムに基づく国際交流員を任用しました。				・現状 引き続き、国等が実施するJETプログラムに基づく国際交流員を任用しています。				
・評価 国際交流員が流山本町及び利根運河両地域の地域資源について、外国人目線での情報発信を行い、外国人観光客の誘致に寄与しました。				・課題 ターゲットである台湾、欧米の外国人観光客の動向に注視し、最新のニーズを把握した上で、プロモーション方法を検討する必要があります。				
・課題に対する改善点 アフターコロナにおける外国人観光客のニーズを把握した上で、プロモーション及び誘客方法を検討しました。				・取組 流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活用し、両地域への外国人観光客を誘致するためのプロモーション及び取り組みを行います。また、国際交流員によるSNSを活用した外国人目線での情報発信を行います。				